

事業所名

いいね本店

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026

年

7

月

31

日

(別添資料1)

法人（事業所）理念	子ども一人ひとりの発達段階や特性に合わせた個別支援と集団活動を通して、「生活」「学び」「社会性」の力を育みます。SST・LST・学習支援・運動療育・外出支援・クッキングなどの実践的な療育を行い、子どもたちが自信を持って地域や社会で生活できる力を育てます。		
支援方針	個別支援、集団活動の両方を行い、活動の中でSST（ソーシャルスキル・トレーニング）を取り入れ、他の人と関わりながら生きていく為に欠かせないスキルを身につけます。 ・お子様の発達に合わせた、宿題、学習の支援を行います。 ・就学前に必要なトイレトレーニング、読み書き、発語に力を入れることで、学校生活がより楽しめるように支援を行います。 ・買い物支援やクッキングイベントなどの活動を通して、子どもたちの身辺自立に繋がります。 ・プレイルーム・学習スペースが分かれており、子ども達の「やりたい」や「友だちと遊ぶ」に繋がる環境作りをしています。		
営業時間	10 時 00 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握） ・生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所） ・構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援 （視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示） ・SSTなどによる身体的、精神的、社会的訓練	
	運動・感覚	・姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善 ・視覚、聴覚、触覚、嗅覚、前庭覚などの感覚活動 ・つかむ・支える・滑る等の要素を取り入れた遊具遊びの提供 ・バランスボールでの姿勢保持 ・指先トレーニング	
	認知・行動	・物の機能や属性、形、色、音が変化する様子の把握 ・空間・時間等の概念の把握 ・1日の時間常別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成	
	言語・コミュニケーション	・文字・記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用 ・終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容 ・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き ・自己紹介、他己紹介	
	人間関係・社会性	・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化 ・見本になるこどもの近くに誘う等の関わり・促し ・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ ・役割分担のある遊びなどの協同遊び ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動	
家族支援	・リトムを用いて日々の申し伝えを行う。 ・定期的に面談を行い現状とニーズの把握を行う。 ・必要に応じたアドバイスをを行う。	移行支援	イベントを通した外出支援などを行い社会でのマナーや規律を伝え、児童自身が社会に対する興味・関心が持てるよう支援する。
地域支援・地域連携	・幼稚園・保育園・学校との連携 ・相談支援事業所・保育所等訪問支援事業所との連携 ・部会への参加	職員の質の向上	社内：初任者OFF-JT・OJT／事業所内研修（毎月1回）／人権擁護基礎研修／対人援助研修／専門職研修／運営管理責任者（リーダー）会議 社外：強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）
主なプログラム	ランチクッキング／おやつクッキング／食育／買い物支援（買い物ごっこ、おつかい）／外出支援／創作支援／映画鑑賞／ハロウィンパーティー／クリスマスパーティー／運動レクリエーション		